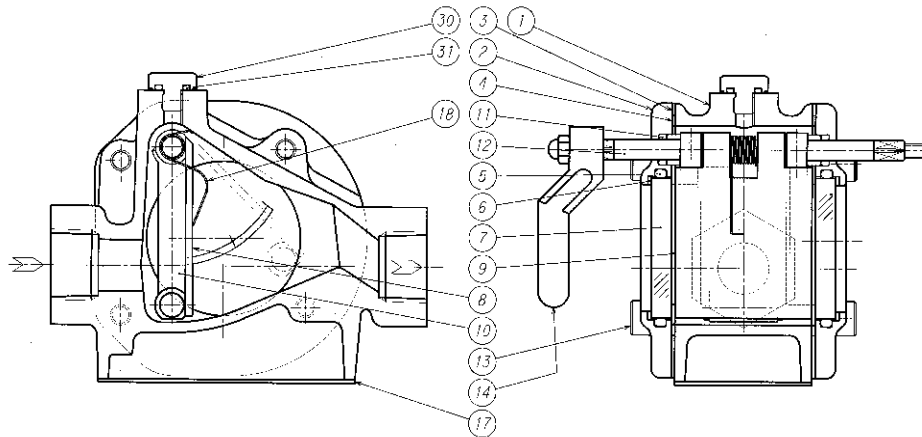


TYPE: - SHB

ワイパー内蔵 CLEAR FLOW GAGE

OPERATION MANUAL

※-(NF) (フランジ)型にも適用



| 部品表 |            |    |    |
|-----|------------|----|----|
| 符号  | 部品         | 数  | 備考 |
| 1   | ボディー       | 1  |    |
| 2   | カバー        | 2  |    |
| 3   | ガスケット      | 2  |    |
| 4   | Oリング       | 2  |    |
| 5   | Oリング       | 2  |    |
| 6   | クッションガスケット | 2  |    |
| 7   | サイトグラス     | 2  |    |
| 8   | フラッパー      | 1  |    |
| 9   | ブラシ        | 2  |    |
| 10  | ブラシホルダー    | 2  |    |
| 11  | Oリング       | 2  |    |
| 12  | スピンドル      | 1  |    |
| 13  | ボルト        | 8  |    |
| 14  | ハンドル       | 1  |    |
| 17  | カバー        | 1  |    |
| 18  | スプリング      | 1式 |    |
| 30  | ブラシ        | 1  |    |
| 31  | Oリング       | 1  |    |

※材質は納入図面を御参照下さい  
※18スプリングの有無は、製品仕様により決定

構造:

フラッパー開度とサイトグラス目盛りより流量ならびに流体の確認が可能です。

本体内蔵のワイパーブラシを御使用いただくことで、

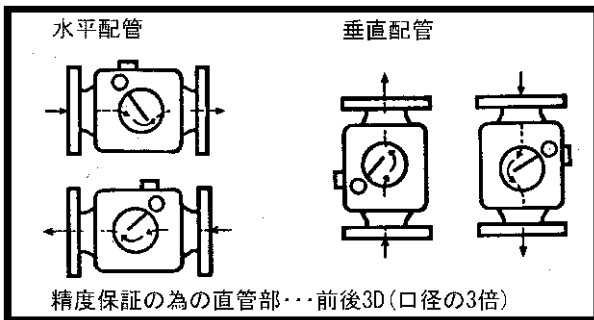
1. サイトグラスに付着した水垢ならび汚れの除去
  2. フラッパーならびスピンドルの固着防止
  3. フラッパー周辺部のゴミ等の付着防止
- 等が可能であり、ワイパー機構の利用度は高いものがあります。

管接続時の確認:

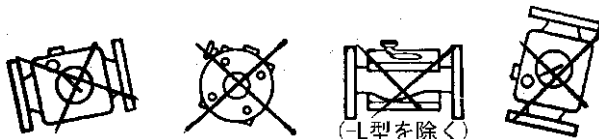
1. 水平方向に取付ける場合、本体が傾かないように取付けて下さい。
2. 配管規格・サイズが違っているものを、無理に接続しないで下さい。
3. 配管スレスレが本体に直接かからないように注意して下さい。

取付姿勢:

正しい姿勢に取付けて下さい



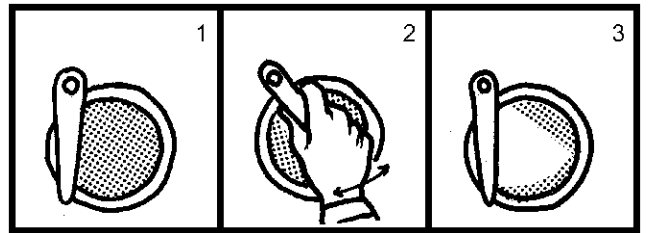
間違った取付は故障の原因となります



ワイパー操作:

⑦サイトグラスに水垢等の汚れが付いた時、⑧フラッパーの動作が正常か確認する時に、ワイパーハンドルを数回回転して下さい。

著しく汚れる前に、定期的の実施していただくことが有効です。



空気抜きプラグ操作:

水平配管に取付ける場合は、本体中央部に空気が溜まる場合があります。流量指示精度を確保するために、⑨プラグを緩めて空気を抜いて下さい。

ボディーの分解掃除:

ワイパー操作で除去出来ない汚れや異物が混入した時には、下記の要領で分解掃除を実施して下さい。

1. 分解中に流体が流入しないように、一次側ならび二次側を閉止して下さい。
  2. ブラシホルダーのナットを緩めて、⑭ハンドルを⑫スピンドルから外して下さい。
  3. ①ボディーと②カバーを留めている締付ボルトを緩めて抜き取って下さい。
  4. ⑫スピンドルが①ボディー側に残るように、②カバーを引離して下さい。  
※ この時、⑦サイトグラスは②カバーと一体になっています
  5. ⑧フラッパー・⑫スピンドルならび⑬スプリングを引抜いて内部を掃除して下さい。  
※ フラッパー部を引抜く時は、⑬スプリングを丁寧に扱って下さい。スプリングの変形は流量指示のズレにつながります。
- 以上で分解掃除は完了です、組立は分解順序の逆に行ってください。
- ※ 分解掃除を実施する時は、併せて③ガスケット④Oリングならび⑩Oリングの交換も併せてお願い致します(パッキン類の再利用は、漏れにつながる恐れがあります)。

TAIYO VALVE MFG. CO., LTD.